

心技館 JOF 組技 B ルール

試合時間

2分1R

試合コスチューム

短パン・ハーフパンツ・スパッツいずれも可。

上半身は男女関係なく・Tシャツ・ラッシュいずれかの着用を義務づける。

試合進行妨げる衣服や、金具付きなど怪我の恐れがあるものは不可とする

レスリングシューズは着用不可とする

試合用具

・片手、片足にコーナー側色のリストバンドを装着する

※リストバンドは主催者が用意したものを装着する

勝敗

- ・ポイントによる優勢勝ち
- ・反則3回、およびレフリーが悪質と判断した場合による反則負け
- ・旗判定による判定勝ち
- ・レフリーが危険と判断した場合によるレフリーストップ
- ・レフリーが続行不可と判断した場合によるレフリーストップ

判定基準

・レフリー1名、サブレフリー2名による計3名の旗判定とする

※状況に応じてレフリーのみの判定とする場合がある

・判定基準はアグレッシブ>ダメージ・スタミナ>ポジショニングとする

※反則があった場合、考慮した上での旗判定とする

※判定による選手や第三者の抗議は一切認めません

※特例でレフリー1名による判定もあります

ポジショニング、抑込によるポイント基準

■ポジショニング

・ガード、ハーフガード、サイド、トップ、マウント、バック(シングルフック可)いずれかのポジションを3秒以上キープすると1ポイント、テイクダウンからは+1ポイントとする

■抑込

抑込は基本的に柔道と同一で、他にバックポジションも含みます。

バックポジションはシングルフックでも抑込とする。

主な抑込は、袈裟固め、横四方固め、縦四方固め、上四方固め、バックポジションの5種類、その他で相手の動きを制した状態を抑込とする。

抑込時、柔道のように片足をフックし、ハーフガードの状態になったとしても、しっかりと相手の動きを制し、ポジションをキープしていれば抑込とします。ポイントは15秒で1ポイント、20秒で2ポイントとします。

反則

反則は軽微な反則は口頭注意から、改善が認められない場合は注意(-2ポイント)、更に反則をした場合は警告(-3ポイント)、更に反則をした場合は失格となります。

【主な反則】

- ・ 全ての打撃
- ・ 全ての関節技、絞め技
- ・ バスターの禁止、又は投げの際に頭部から落とす行為
- ・ カニばさみ、かわず掛け、さば折り等の怪我を誘発する投げ技
- ・ 体を浴びせての大外刈り、小外刈りで相手を投げる行為
- ・ スタンドから飛びついてガードポジション(バックを含む)をとる行為
- ・ 相手の指、競技道具、衣類をつかむ行為
- ・ 金的、目への攻撃、又は指による突き攻撃、又は道徳上許されない行為
- ・ 故意にリング、及びマットの外に出る行為
- ・ 整髪量、ワセリン、体にオイルを塗付する行為
- ・ レフリーへの抗議、罵倒、暴力行為、又は指示に従わない行為
- ・ 悪質、また競技に著しく支障をきたす反則についてはレフリー判断で反則負けとなる

※ その他、反則細事はレフリーの判断とする

※ 質問がある場合は必ず心技館、遠藤までお問合せ下さい

■その他わからない事があれば、遠藤までご連絡いただきますよう、宜しくお願い致します。

ルールの把握は自己責任とさせていただきます。

心技館 046-207-7276

遠藤 090-3511-7489